

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2017年1月1日 ～ 2024年12月31日の間に、虎の門病院消化器外科・消化器内科に入院し、膵切除術が施行され、病理組織学的に膵管内乳頭粘液性腫瘍と診断された方。

【研究課題名】

膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）切除例の検討

【研究の目的・背景】

《目的》

当院にて外科的切除により膵管内乳頭粘液性腫瘍（Intraductal papillary mucinous neoplasm：IPMN）と診断された症例の画像所見・臨床病理学的特徴を検討することにより、正確な術前診断や適切なマネジメント法を探ることを目的とします。

《研究に至る背景》

CT、MRI、腹部超音波検査などの画像検査の性能向上と普及により、膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）が発見される機会が増えています。IPMN 診療においては、悪性度評価・手術適応の有無の評価などが重要ですが、後期高齢者に好発するためマネジメントに苦慮する場合があります。当院にて外科的切除により IPMN と診断された症例の画像所見・臨床病理学的特徴を検討することにより、正確な術前診断や外科的切除の至適タイミングなどの IPMN に対する適切なマネジメント法を提唱できる可能性があり、公衆衛生の向上に寄与できるものと考えています。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2022年11月21日 ～ 2028年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は、虎の門病院消化器内科 小山里香子のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

血液検査結果、画像検査結果（内視鏡画像、超音波画像、CT、MRI、ERCP）、診療録、看護記録、薬歴、手術記録、病理組織結果など

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院消化器内科 医長 小山 里香子

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025 年 4 月 30 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様の不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院消化器内科医長 小山 里香子
電話 03-3588-1111(代表)